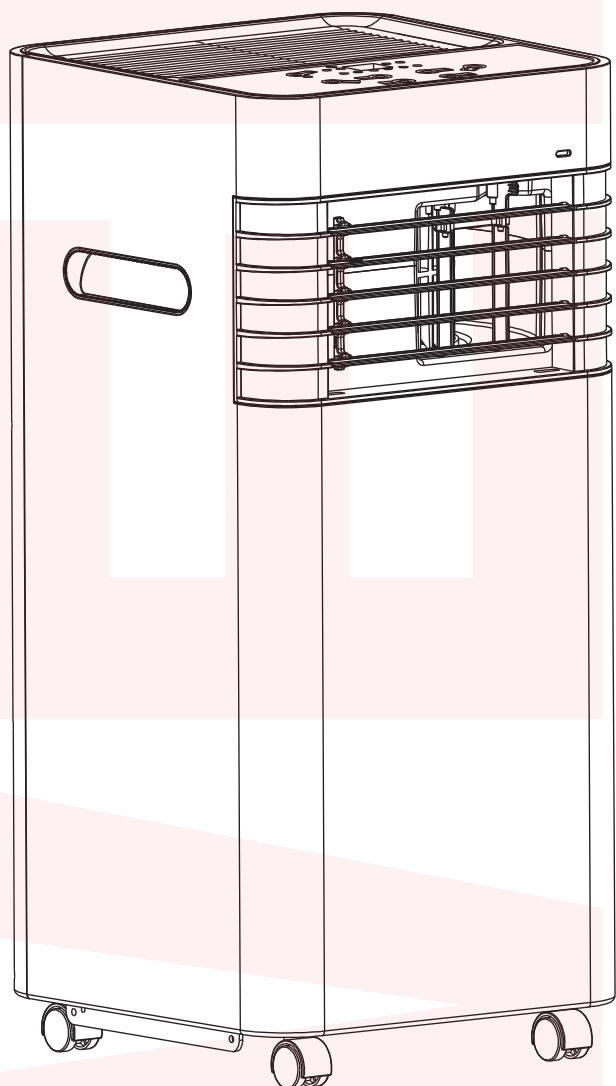


THANKO

型番：PBTA25HWH

取扱説明書

Ver1.00.sa



もくじ

安全上のご注意	2
使用上の注意	6
セット内容・各部名称	7
ご使用の前に	9
運転前の準備	10
使用方法	15
お手入れ方法	22
保管方法/長期使用についてのご注意	24
故障かな?と思ったら	25
エラー表示について	26
仕様	27
アフターサービス	28

このたびは、本製品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
この商品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
ご使用の前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

※重要 お読みになった後は、お手元に置いて保管してください。

家庭用

日本国内専用
Only for use in Japan

保証期間：購入日より12ヶ月

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

表示の説明



警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

お守りいただく内容を、次の区分で説明しています。



禁止（してはいけない内容）を示します。



強制（実行しなくてはならない内容）を示します。

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」全てをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。



警告

◆設置について



水のかかる場所や火気の近くで使用しない。

漏電・火災の原因

子供だけで使用したり、幼児の手の届くところで使用・保管しない。

やけど・感電・けがの原因

壁や家具などの近くで使用しない。

変形・変色の原因

不安定な場所で使用しない。

転倒によるけが・故障・火災・感電の原因

粉じんの多い場所で使用しない。

感電・故障・引火や本体への吸引による発火・発煙の原因

設置スペースが狭いなど、落下の危険がある場所に設置しない。

転倒によるけが・故障・火災・感電の原因



爆発物や可燃性ガスがある場所で使用したり、引火性のある液体、燃焼性の液体など、燃焼性のあるものの近くでは使用しない。

火災の原因

直射日光の当たる場所や湯気の当たる場所、水回りや風呂場などの湿気の多い場所で使用・保管しない。

変形・変色・故障の原因

暖房器具の周辺など、熱気が当たる場所で使用しない。

故障・変形の原因

コンロ周りなど、油が本体に付着する場所で使用しない。

引火・本体への吸引による発火や発煙、樹脂の劣化やひび割れによるけがの原因



アースを取り付ける。

アース線は必ず接続してください。

アース接続

アース工事は必ず電気工事店などに依頼してください。（工事費は本体価格に含まれません）
ベランダの手すりやガス管・水道管・避雷針・電話などのアースに取り付けしないでください。



水気の多いところで使用する場合は、漏電遮断器を設置する。

水気の多いところに設置する場合は、アースの他に漏電遮断器の設置が義務付けられています。（ご家庭の分電盤に設置されていることがあります。）

詳しくは、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。

安全上のご注意

警告

◆電源プラグ・電源コードについて



ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない。

感電・やけど・けがの原因



水ぬれ禁止

電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・発火の原因



電源プラグを舐めさせない。

感電・けがの原因

電源プラグが曲がった場合は、使用しない。

感電・火災・やけどの原因

電源コードを傷付けたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねて使用しない。また、重いものを載せて使用しない。

感電・ショート・火災の原因

電源プラグを水につけたり、水をかけたりしない。

ショート・感電・故障の原因

延長コードは使用しない。

タコ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因



電源プラグの刃および刃の取り付け面に付着したほこりは拭き取る。

火災・感電の原因

電源プラグは根本まで確実に差し込む。感電・発火・故障の原因

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く。

火災・感電の原因

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行う。

感電・発火・故障の原因

定期的にコンセントや電源プラグの点検を行う。

コンセントにほこりが溜まっているときに湿気が加わると、電流が流れて火災の原因となることがあります。本体から電源コードまたは電源プラグが外れていたり、破損している場合は特に危険です。

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。

感電・漏電・火災の原因

電源プラグを抜き差しするときは、本体が動作していないことを確認する。

感電・ショート・火災・発火の原因

◆排気ダクトについて



排気ダクトの吹出口に顔や手を近づけない。

低温やけどの原因

雨天時、強風時には窓用パネル（※パネルA、B、C）を使用しない。

本体側に水、風、ゴミ、虫が入り故障の原因



ダクトを潰さない。

性能低下の原因

ダクトを引っ張ったり、ひっかけない。

故障・破損の原因

◆異常時について



製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する。

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因

・電源コードや電源プラグが膨張するなど、変形や変色、損傷している ・電源コードの一部や電源プラグが異常な発熱をしている ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする ・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする ・本体から異音が出る ・本体が動作しない など、上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはサポートセンターまでご連絡ください。

安全上のご注意

警告

◆本製品の取り扱いについて



取り扱い説明書に記載以外の用途に使用しない。

やけど・けが・故障の原因

本体の隙間にピンや針金など金属物や異物を入れない。

感電・故障の原因

本体の上にものを載せない。また、洗濯物などをかけない。

落下して、けがや火災の原因。また、風の流れを塞ぐと、過熱して火災の原因

ぬれた手で操作パネル、リモコンを操作しない。

感電・故障の原因

本体を揺すらない、前後左右に傾けたり、倒したりしない。

水がこぼれて感電・故障の原因

屋外では使用しない。

故障・感電の原因

吸気口・吹出口・排気口を塞がない。

風通しが悪くなり、発熱・発火・故障の原因

風をヒーターなどの燃焼器具に向けて使用しない。

不完全燃焼や炎の飛散を引き起こし、一酸化炭素中毒や火災の原因

変形や破損など異常があるときは使用しない。

火災・感電・けがの原因

コップなど水の入った容器を載せない。

感電・発火の原因



改造や分解をしない。修理技術者以外の人は分解したり、修理をしない。

火災・感電・けがの原因

本体や付属品を落としたり、ぶつけたりしない。また、落としたり、ぶつけたりしたときは使用しない。

故障や破損、変形により、火災

お手入れの際は有機溶剤（ベンジン、シンナー、石油等）、薬品類（漂白剤、消毒液等）、研磨剤は使用しない。

変形・変色・故障の原因や感電

押入れや家具の隙間、机の下など狭い場所では使用しない。

発火・故障の原因

本製品を水につけたり、本体に水をかけたり、丸洗いしたりしない。

ショート・感電・火災・故障の原因

風の流れを遮るようなものを周囲に置かない。

過熱して火災の原因



ペットの近くで使用する場合、ペットが本体に尿をかけたり、電源コードをかじらないよう注意する。

感電・発火の原因

本体の移動は必ず運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、排水が溜まっていれば捨ててから行う。また、畳や傷のつきやすい床、凹凸のある場所、毛足の長いじゅうたんの場合、持ち上げて移動する。

水漏れして家財などをぬらしたり、漏電によって感電・火災の原因。また、床を傷つけたり、けがの原因

安全上のご注意

注意

◆本製品の取り扱いについて



塩素系や酸性の洗剤は使用しない。
有毒ガスが発生し、健康を害したり樹脂の劣化や
ひび割れによるけがの原因

本体や付属品に過度な力を加えない。
故障・破損の原因

他の電気機器や家財などの上に本体を置
かない。
結露の滴下による汚損・故障の原因

本体内部の金属部に触れない。
けがの原因

乳幼児や身動きできない方(病気やけが)
は単独で使用しない。
次のような方がご使用になる場合は、周りの方が
注意してください。
・乳幼児、お子様、お年寄り、病気の方、身体の不
自由な方、深酒や睡眠薬を飲まれた方
体調不良の原因

ロボット掃除機を使用する場合は本体を
床に置かない。
本体の移動や電源コードの巻き込み、転倒による
故障の原因

消臭剤やエアコン洗浄などのスプレーを
吹きかけたり、近くで使用しない。
故障の原因

本体の上に乗らない、寄りかからない
落下や転倒によるけがの原因



排気口に顔や手を近づけない。
低温やけどの原因

煙や霧が出るくん煙タイプの殺虫剤を使
うときは運転しない。
本体内部に薬剤成分が蓄積し、その後の運転で放
出されて、健康を害する原因

長時間風を身体に当てない。
健康を害する原因

排水を飲料用に使用しない。また、動植
物にも与えない。
体調不良・悪影響を及ぼす原因

ペット用として使用しない。動植物に直
接風を当てない。
動植物に悪影響を及ぼす原因



ヒーターなどの燃焼器具と一緒に使う場
合はこまめに換気する。
換気が不十分な場合、一酸化炭素中毒・酸素不足
の原因

持ち上げて移動するときは、安全のため
取り扱いに十分注意する。
・必ず、本体の持ち手と底面を持って運ぶ。
・本体を傾けて運ばない。
故障の原因

- ・本製品は、特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）の適用製品ではありません。
- ・本製品は、冷媒が封入されています。冷媒が排出されると地球温暖化が進みます。廃棄する場合は、冷媒の回収、運搬、廃棄の料金が必要になり、使用者ご自身の負担により、専門の回収業者（登録制）に委託し、適切に処理していただく必要があります。ご不明な点は、お住まいの地方自治体の窓口に確認をお願いいたします。
- ・本体や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

使用上の注意

- ・セパレートエアコン等と構造が異なります。簡易的な冷房としてお使いください。

冷風は出ますが、エアコンとは異なり部屋全体を冷房することはできません。閉め切った部屋で運転すると、排熱により室温が上昇します。

- ・電源をオフにしたときや電源プラグを抜いた後は、すぐに再運転しないでください。

一度運転を停止した後や、ブレーカーが落ちた場合などは3分以上待った後に運転を行ってください。すぐに再運転するとコンプレッサーに負担がかかり故障の原因となります。

設置について

- ・テレビやラジオなどの AV 機器から 2m 以上離してください。電波障害の原因となります。
- ・直射日光が当たる場所に設置しないでください。
本体内部の温度が上昇し、正常に動作しないおそれがあります。

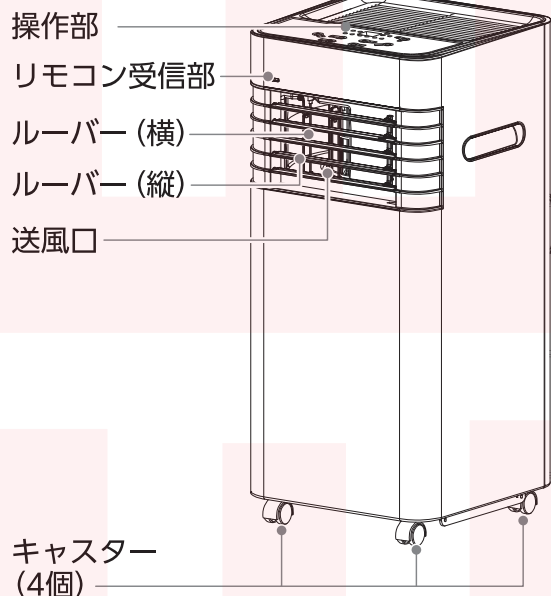
使用について

- ・室温 16℃～42℃の範囲でお使いください。
指定の温度範囲外で使用すると、本体の保護機能がはたらき、運転できないことがあります。使用温度範囲は湿度により変わりますので、目安としてください。
- ・吸気フィルターを外した状態で使用しないでください。
本体内にほこりを吸い込み、故障の原因となります。
- ・排気ダクトを延長しないでください。
同梱している排気ダクトに市販の排気ダクトなどを取り付けて、延長して使用することはできません。性能低下や安全装置が作動し、運転が継続できなくなる可能性があります。
- ・騒音に注意してください。
設置場所や本体自体の振動などにより、騒音が発生する場合があります。
 - ・排気口からの風の騒音・風が近傍のものに当たったときの騒音
 - ・不安定な場所に設置したときの振動による騒音
 - ・コンプレッサーの振動による騒音
- ・精密機器（パソコン）や食品、美術品の保存、動植物の飼育や栽培などには使用しないでください。
保存品の品質低下の原因となります。
- ・使用環境によっては、お手入れ期間を短くしてください。（ほこりの多い場所等）
フィルターが目詰まりしたまま使用すると冷風が出ない場合があります。
- ・車で移動するときなど、本体を傾けたり、横倒しにしない。
コンプレッサー方式のため、故障の原因となります。
- ・目の届くところで使用してください。
お部屋に誰もいないときは運転をしないでください。

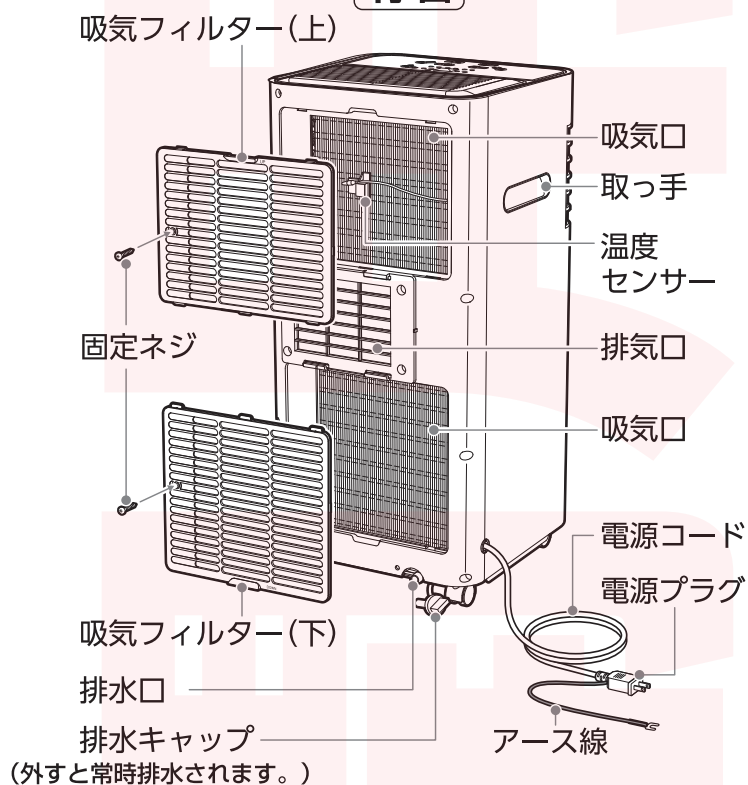
セット内容・各部名称

本体

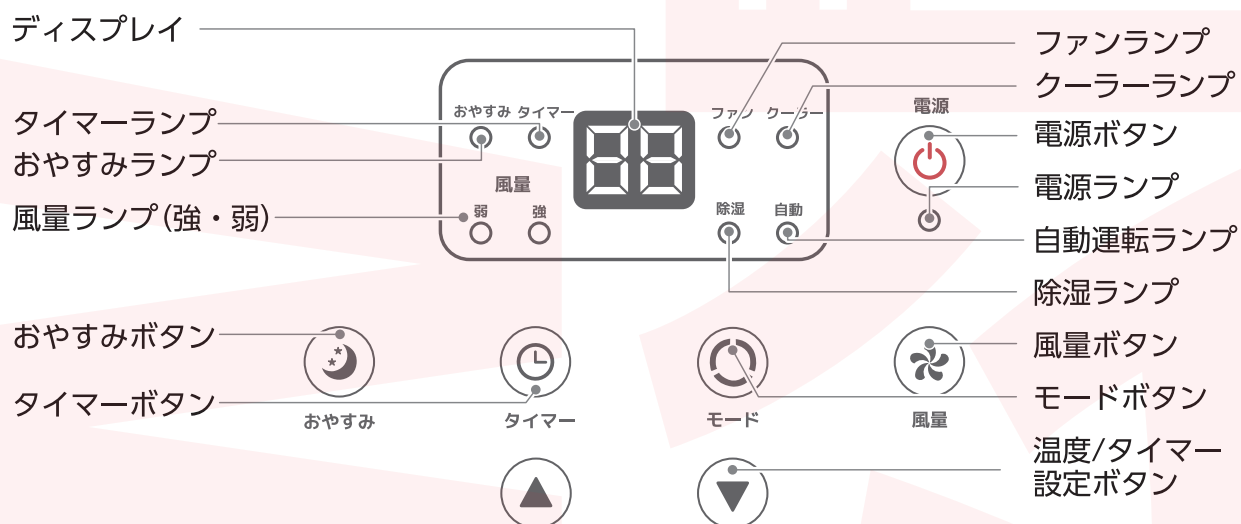
正面



背面



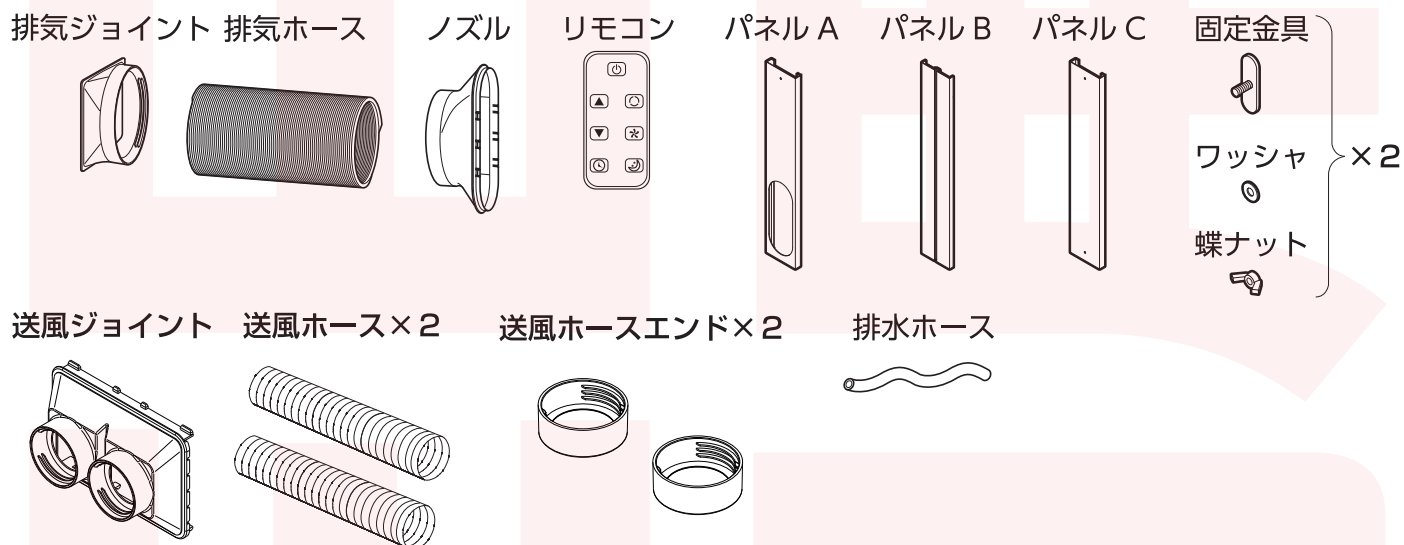
操作部



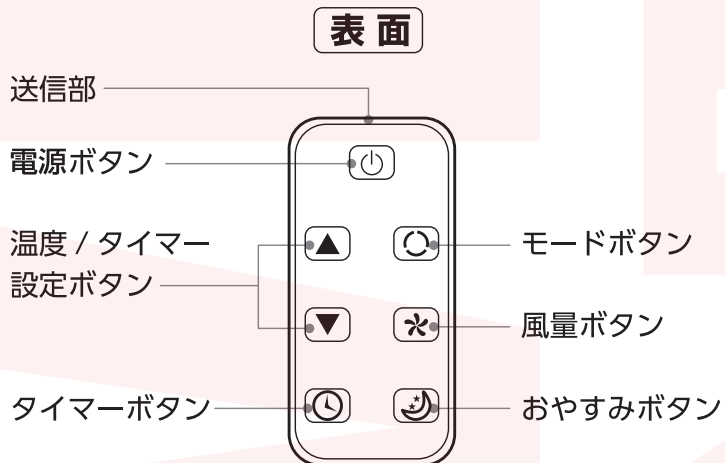
セット内容・各部名称

付属品

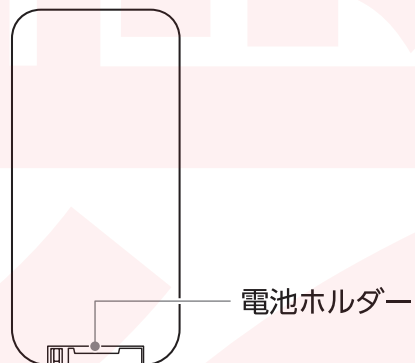
※全ての付属品は別売りしていません



リモコン



裏面



ご使用の前に

知っておいていただきたいこと

本製品は冷房機ではありません。スポット冷風機のため部屋全体を冷房することはできません。

- **運転可能な部屋の温度は16℃～42℃です。**

以下の環境になると自動保護機能が働き、ファンモードに切り替わります。

※約3分後に正常運転に復帰できます。

◎クーラーモード … 本体の周囲温度が43℃以上、または15℃以下

◎除湿モード … 本体の周囲温度が15℃以下

また、クーラーモード時に冷却ユニットに霜が付いた場合は、霜が溶けたあとに正常運転に復帰できます。

- **本体の周囲温度について**

- ・ディスプレイに表示される温度は本体に内蔵されている温度センサーが感知する製品の周囲温度となります。
- ・設置場所によっては温度が正確に表示されない場合があります。

次のような現象は製品の異常ではありません。

- **アルミフィンについて**

熱交換器に使用しているアルミフィンは、銅管の接続の際、熱により一部変色していますが、性能に影響はありません。

- **露(つゆ)について**

部屋の湿度が80%以上あるときに、長期間にわたって冷房運転を続けると、排気ホースの付近などに露が付き、落ちることがあります。

- **霧(きり)について**

冷房運転中に排気ホース付近から霧(煙)のようなものが見えることがあります。これは、吹き出した冷風で部屋の空気が冷やされて霧状に見えるためで、故障ではありません。

- **においについて**

部屋や芳香剤のにおい、化粧品、汗、タバコなどのにおいが本体に付着し、吹き出す風がにおうことがあります。

- **音について**

- ・運転開始直後や停止後に「シュルシュル」という音や、運転中に水が流れるような音がすることがあります。これらの音は冷媒が流れる音です。
- ・運転中に本体から「ピシッ」という小さな音がすることがありますが、これは本体が冷やされて収縮することにより発生する音です。
- ・運転中に「シャワシャワ」という音がすることがありますが、これは本体内部でドレン水を蒸発処理している音です。
- ・本機は圧縮機が稼働すると、大きな音が鳴りますが故障ではありません。

- **圧縮機の動作について**

『電源』ボタンや『モード』ボタンを操作し、圧縮機が「ON」から「OFF」へ切り替わったあと、クーラーモードなどに設定してもすぐに圧縮機が「ON」にならない場合があります。これは圧縮機保護のための機能です。圧縮機が再度「ON」になるまで約3分程お待ちください。※ご使用の環境によって時間は変化します。

設置について

- **水平で安定した場所に設置してください。**

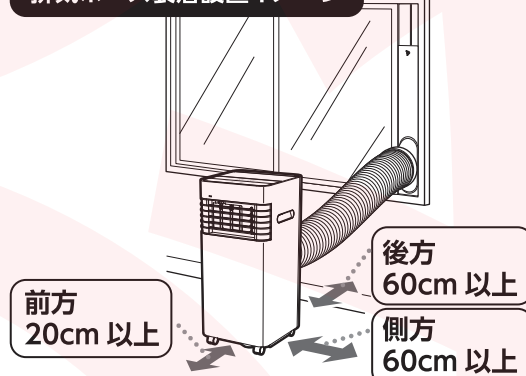
不安定な場所で使用すると、転倒や振動音が発生したり、水が漏れたりする原因になります。

- **吸気口は、壁や障害物から60cm以上離してください。**

- **本製品の本体重量は約15.5kgです。重量に十分耐える場所に設置してください。**

畳の上や、やわらかいフローリングの上などの傷がついたり、設置の跡が残ったりする可能性がある場所には設置しないでください。

排気ホース装着設置イメージ



運転前の準備 排気ホースの取り付け

1 製品を取り出し、設置する

包装箱を開けて包装材と付属品を取り出します。包装箱と包装材は保管の際にお使いください。

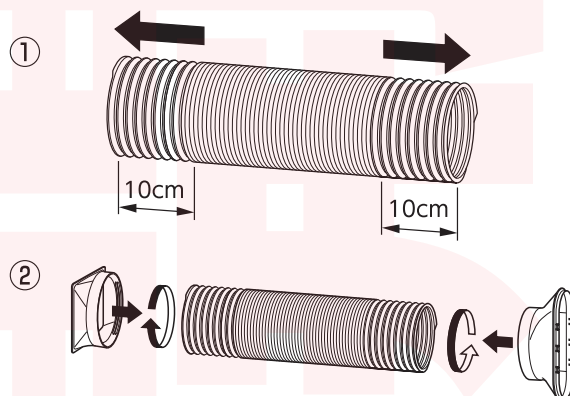


※本製品は重量が約15.5kgあるため2人以上で取り出し、設置してください。

2 ノズルと排気ジョイントを排気ホースに取り付ける

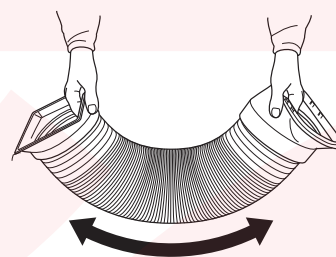
①排気ホースの両端を10cm程度伸ばします。

②ノズルと排気ジョイントを反時計回りに回して取り付けます。



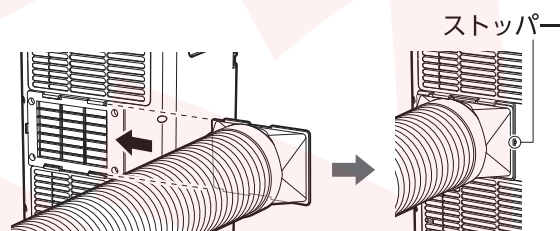
3 排気ホースを調節する

ノズルと排気ジョイントを持ち、使用環境に合わせて排気ホースを曲げ伸ばしします。



4 排気ホースを排気口に取り付ける

排気ジョイントを右図の向きにして本体に差し込み、ストッパーで固定されるまで押し込みます。

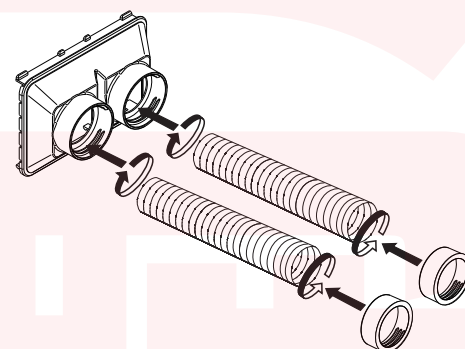
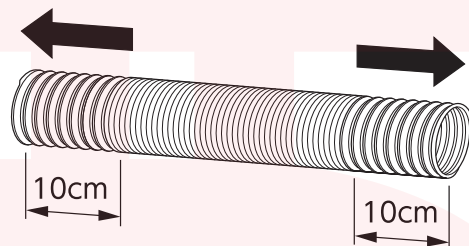


※排気ホースは必ず装着してご使用ください。

運転前の準備 送風ホースの取り付け（※必須ではありません）

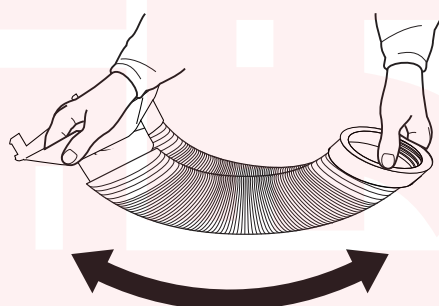
1 送風ホースエンドと送風ジョイントを取り付ける

- ①各送風ホースの両端を10cm程度伸ばします。
- ②各送風ホースエンドを反時計回りに回して取り付けます。



2 送風ホースを調整する

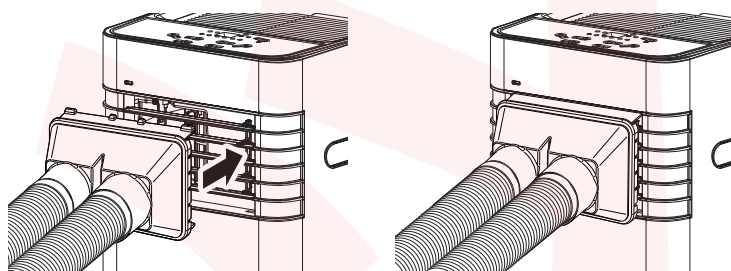
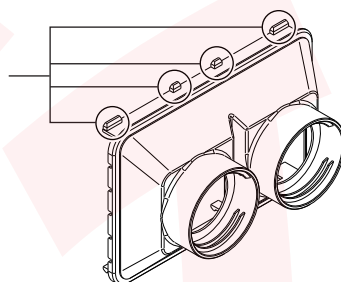
送風ホースエンドと送風ジョイントを持ち、使用環境に合わせて送風ホースを曲げ伸ばしします。



3 送風ジョイントを送風口に取り付ける

送風ジョイントを右図の向きにして本体に差し込み、「カチッ」と音が鳴るまで押し込みます。

突起が4つある方が上です。



運転前の準備

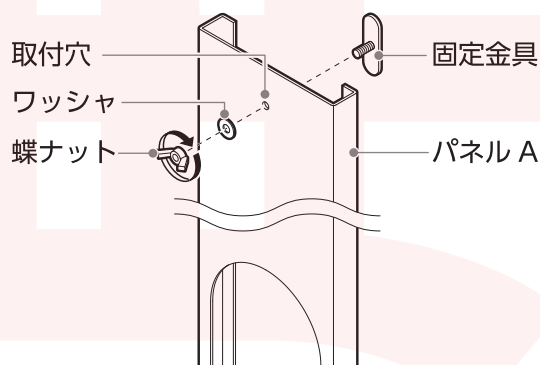
窓排気の取り付け（※必須ではありません）

1 パネルを組み立てる

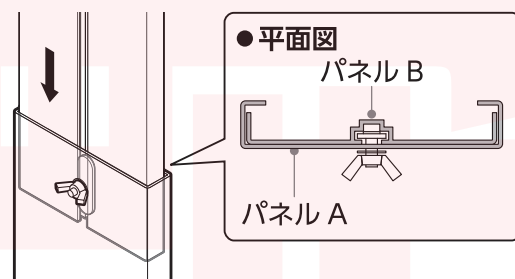
①パネルAの取付穴に固定器具を差し込み、ワッシャを通して蝶ナットで仮留めします。



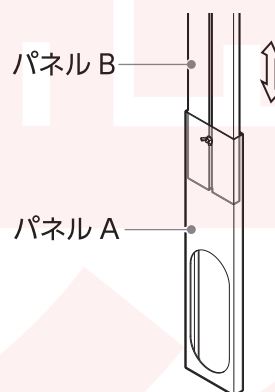
※蝶ナットは止まるまで締め付けしないでください。



②パネルAにパネルBを取り付けます。
固定器具を縦方向に向けて、パネルBの溝に差し込みます。

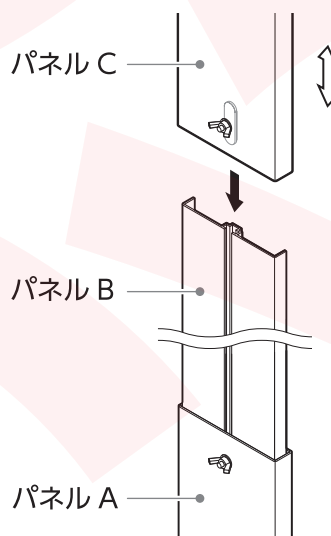


③パネルを窓枠の高さに合わせます。
パネルBを上下させて窓枠の高さに合わせ、蝶ナットを締め付けて固定します。



④パネルAとパネルBで高さが足りない場合はパネルCを追加します。

①～③と同様の手順で取り付けてください

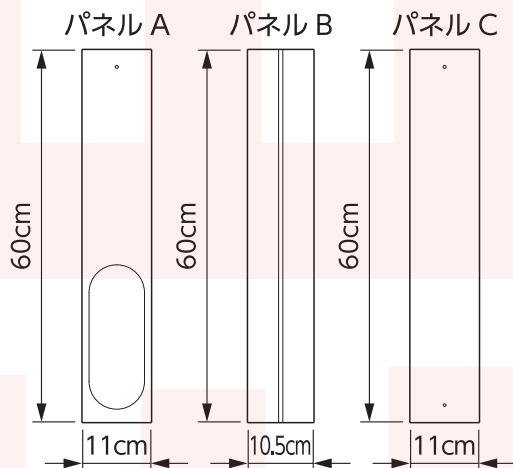


運転前の準備

窓排気の取り付けをする場合（※必須ではありません）

設置可能な窓枠高さについて

●パネルの大きさ



●窓枠の高さ82～115cm

⇒パネルA+Bを使用

※窓枠の高さが81cm以下の場合は、パネルBがパネルAの穴を塞いでしまい、ノズルを取り付けることができません。

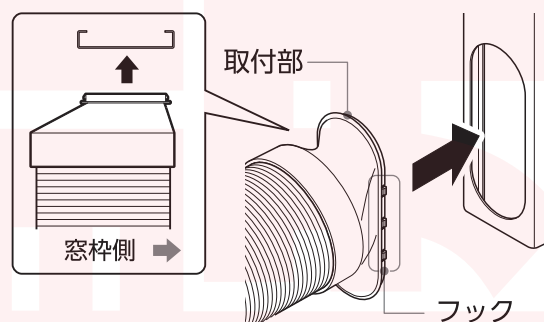
●窓枠の高さ120～170cm

⇒パネルA+B+Cを使用

※パネルCを使用しても116～119cmの窓枠には取り付けることができません。

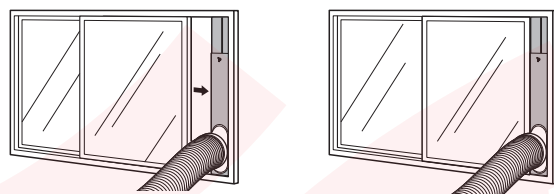
2 ノズルをパネルAの穴に取り付ける

ノズルの取付部を窓枠側に向け、フック（6ヶ所）で固定されるまで押し込みます。



3 パネルを窓に取り付ける

パネルを窓と窓枠の間に挟んで固定します。



※本製品をご使用いただく場合、窓の鍵が使用できなくなります。別途窓用の補助鍵のご購入をご検討願います。

運転前の準備 リモコンについて

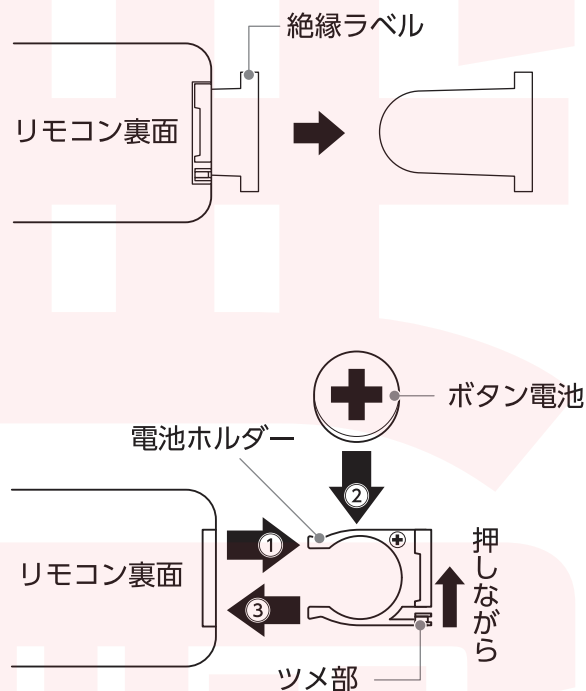
工場出荷の段階でボタン電池が装着されています。
ご使用前に絶縁ラベルを引き抜いてください。

※製品に付属しているボタン電池はテスト用のため、
早く消耗する場合があります。

■ ボタン電池の交換方法

使用するボタン電池は「CR2025」です。

- ① リモコン裏面の電池ホルダーのツメ部を、矢印方向に押しながら引き抜きます。
- ② 新しいボタン電池の【+】を上にして装着します。
- ③ 電池ホルダーを「カチッ」と音がするまではめ込みます。

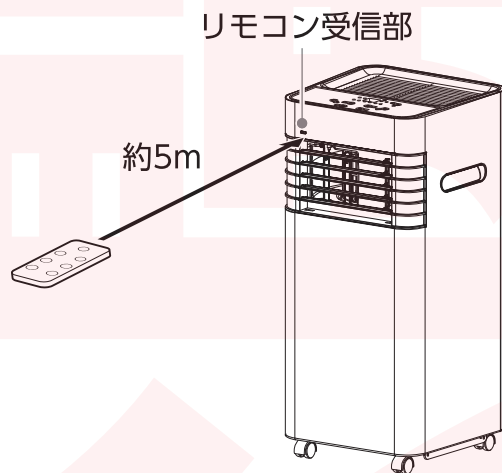


■ 操作範囲

リモコンの送信部を本体のリモコン受信部に向けて使用してください。操作距離は直線で約5mです。

テレビやオーディオのリモコン等を使用した際、まれに本体が反応して動作することがあります。これは本製品と同じ周波数を利用している機器で起きる現象です。

このような場合は本体に影響しない場所でご使用ください。



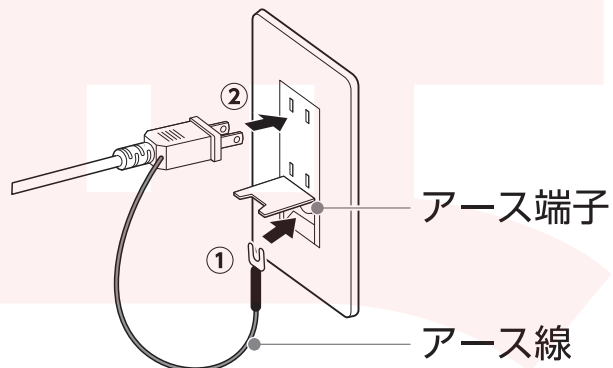
使用方法

1 アース線と電源を接続する

- ①アース線をアース端子に接続します。
- ②電源プラグをコンセントに差し込みます。
接続すると「ピーッ」と電子音が鳴ります。



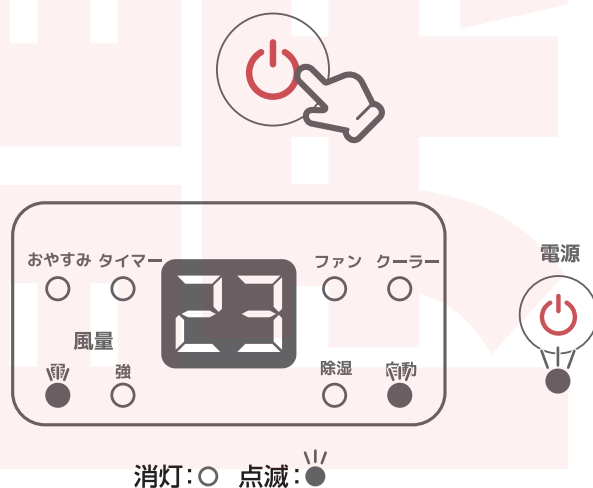
※アース線は必ず接続してください。故障や漏電した場合、感電するおそれがあります。



2 運転を開始する

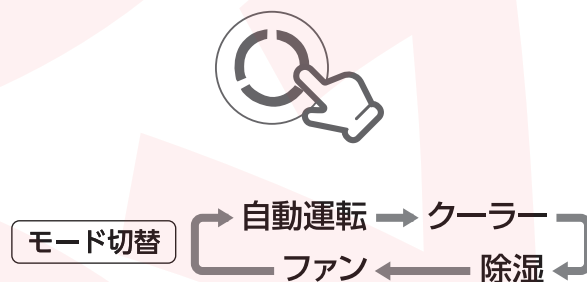
操作部またはリモコンの『電源』ボタンを押します。『電源』ランプが点灯し、ディスプレイに本体の周囲温度が表示されて運転を開始します。

※初めてお使いになる場合や、電源プラグを差し直した場合は、自動運転モードで運転を開始します。



3 モードを選択する

操作部またはリモコンの『モード』ボタンを押して、お好みの運転モードに合わせます。設定した電源モードのランプが点滅から点灯に切り替わると運転を開始します。



使用方法 モードについて

自動運転モード

運転を再開したときや設定温度を切り替えたときの本体の周囲温度に応じて、クーラーモードとファンモードが自動で選択されて運転します。

操作部またはリモコンの『モード』ボタンを押して、自動運転モードに合わせます。『自動運転』ランプと『風量』ランプが点灯して、自動運転モードで運転を開始します。

●温度は15℃～31℃の範囲で設定できます。



※周囲温度は、本体に内蔵されている温度センサーが感知する製品の周囲温度となります。
※選択されたモードは、周囲温度が変化しても切り替わりません。ご注意ください。

クーラーモード

設定温度に応じてクーラーモードとファンモードを自動で切り替えて運転します。

①操作部またはリモコンの『モード』ボタンを押して、クーラーモードに合わせます。『クーラー』ランプと『ファン』ランプが点灯して、クーラーモードで運転を開始します。

②操作部またはリモコンの『温度/タイマー設定』ボタンを押します。ディスプレイが周囲温度表示から温度設定表示に切り替わり点滅します。

③点滅中に『温度/タイマー設定』ボタンを押して温度を設定します。

●好みの温度に設定し、ディスプレイの表示が点滅から点灯に切り替わると設定完了です。

●温度は15℃～31℃の範囲で設定できます。

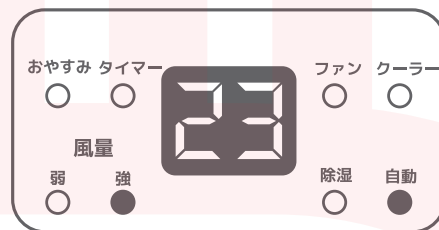
●設定温度と実際に出る冷風の温度は異なります。



※クーラーモード使用時のみ、おやすみ設定を使用することができます。



モード



消灯:○ 点灯:●

周囲温度23℃以下



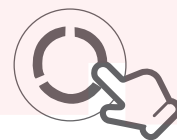
→ ファンモード

周囲温度24℃以上



→ クーラーモード

①



モード



消灯:○ 点灯:●

②

周囲温度



温度設定



③

15℃



25℃



31℃



使用方法 モードについて

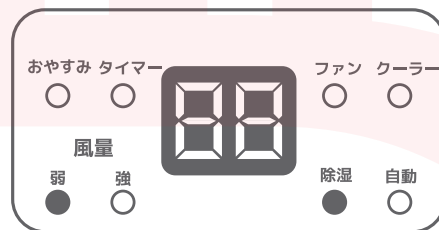
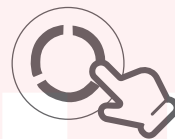
除湿モード

乾燥した風を送り出し、湿度を下げます。

操作部またはリモコンの『モード』ボタンを押して、除湿モードに合わせます。『除湿』ランプと『風量』ランプ「弱」が点灯して、除湿モードで運転を開始します。



- ※除湿モードは8分間除湿運転→6分間送風を繰り返します。
- ※除湿モード使用時は風量の切り替えができません。



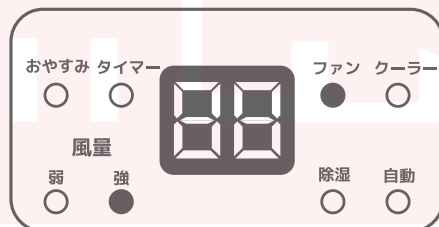
電源



ファンモード

設定した風量（強/弱）で風を送り出します。

操作部またはリモコンの『モード』ボタンを押して、ファンモードに合わせます。『ファン』ランプと『風量』ランプが点灯して、ファンモードで運転を開始します。



電源



4 運転を停止する

操作部またはリモコンの『電源』ボタンを押します。全てのランプが消灯して運転が停止します。



メモリー機能

一度運転を停止させて再びご使用になるときは、停止時の設定で運転を再開します。（オフタイマー設定は除く）
電源プラグを差し直した場合はリセットされます。

使用方法 機能の設定について

■ 運転モードと機能の組み合わせ

右表の組み合わせで設定ができます。

機能 \ 運転モード	除湿	ファン	自動運転	クーラー
おやすみ設定	×	×	×	○
オン/オフタイマー	○	○	○	○
風量設定	×	○	○	○

風量設定

風量の「弱」と「強」を設定します。

操作部またはリモコンの『ファン』ボタンを押します。『ファン』ボタンを押すごとに風量「弱」と「強」が切り替わり、設定に応じた『ファン』ランプが点灯します。



風量：弱

風量：強

風量

風量

弱

強

弱

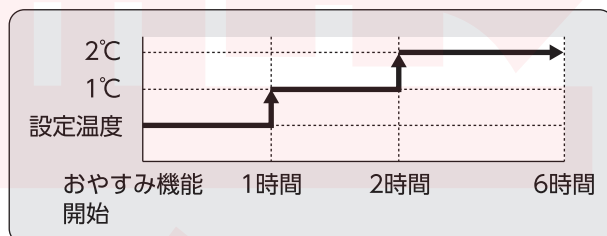
強

消灯：○ 点灯：●

おやすみ運転

クーラーモード時に設定すると就寝時に最適な心地よい風を演出します。

設定温度から1時間後に1℃上昇し、2時間後にさらに1℃上昇して、6時間後に運転を停止します。



①操作部またはリモコンの『おやすみ』ボタンを押します。『おやすみ』ランプが点灯し、『おやすみ』モードが設定されます。

②おやすみ設定を解除する場合は、もう一度『おやすみ』ボタンを押します。『おやすみ』ランプが消灯して『おやすみ』設定が解除されます。



OFF

ON

おやすみ

おやすみ

消灯：○ 点灯：●

使用方法 機能の設定について

オフタイマー設定

運転停止までの時間を設定します。

①運転中に操作部またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。ディスプレイが周囲温度表示からタイマー設定表示「00」に切り替わり、『タイマー』ランプが点滅します。



②『タイマー』ランプの点滅中に、操作部またはリモコンの『温度/タイマー設定』ボタンを押して時間を設定します。

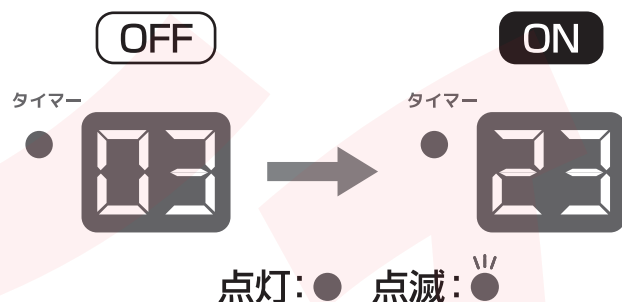
●『温度/タイマー設定』ボタンを押すごとに1時間単位で増減します。

●1～24時間の範囲で1時間毎に設定できます。

③設定が完了するとディスプレイが周囲温度表示に切り替わり、『タイマー』ランプが連続点灯します。



④オフタイマーモードを解除する場合は、『タイマー』ボタンを押します。点滅中にもう一度『タイマー』ボタンを押すか、時間の設定を「00」に合わせて点灯するまで待つと『タイマー』ランプが消灯して、オフタイマーモードが解除されます。



使用方法 機能の設定について

オンタイマー設定

運転開始までの時間を設定します。

①電源オフ時に操作部またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。ディスプレイがタイマー設定表示「00」に切り替わり、『タイマー』ランプが点滅します。

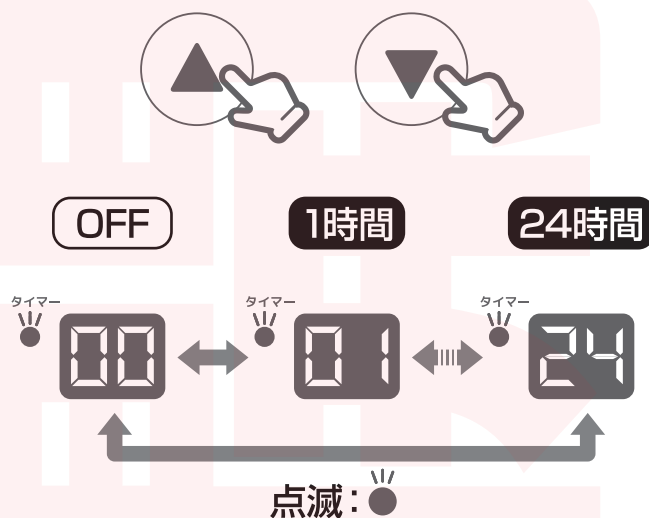


②『タイマー』ランプの点滅中に、操作部またはリモコンの『温度/タイマー設定』ボタンを押して時間を設定します。

●『温度/タイマー設定』ボタンを押すごとに1時間単位で増減します。

●1～24時間の範囲で1時間毎に設定できます。

③設定が完了するとディスプレイの表示が消灯し、『タイマー』ランプが連続点灯します。



④オンタイマーモードを解除する場合は、『タイマー』ボタンを押します。点滅中にもう一度『タイマー』ボタンを押すか、時間の設定を「00」に合わせて点灯するまで待つと『タイマー』ランプが消灯して、オンタイマーモードが解除されます。

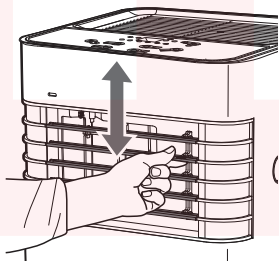


使用方法 風向き変更方法と排水方法について

風向きを調節する

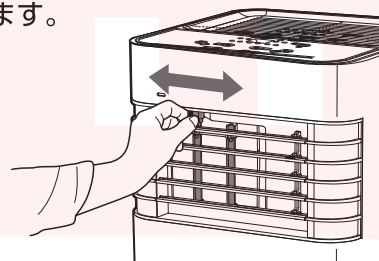
■ 上下方向の調節のしかた

ルーバー（横）を持って上下に動かします。



■ 左右方向の調節のしかた

ルーバー（縦）のツマミを持って左右に動かします。



排水する

本機はノンドレン機構となっておりますが、湿度が高い場合ドレン水が溜まる場合があります。

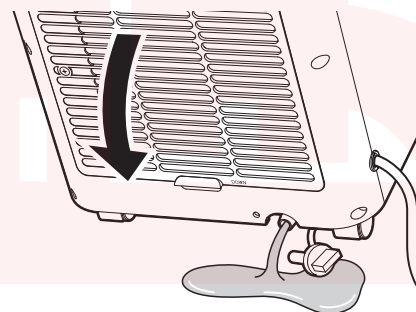
※ノンドレン機構とは運転時のドレン水を内部で蒸発させ排気とともに出す構造です。

水が溜まったり、エラーコード「E4」が表示された場合は、排水キャップを外して排水してください。

■ 排水のしかた

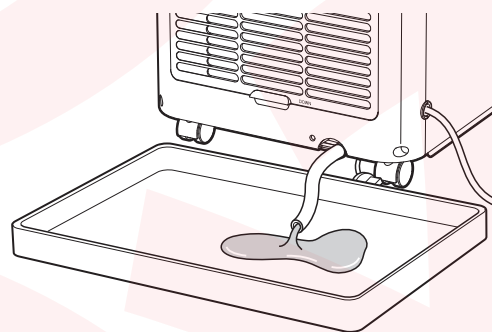
◎排水ホースを使用しない場合

- ① 電源を切って電源プラグをコンセントから抜きます。
- ② 排気ホースを取り外します。
- ③ 水がこぼれないように浴室などの濡れてもよい場所まで本体をゆっくりと移動します。
- ④ 排水キャップを取り外します。
- ⑤ 本体を傾けて排水します。
- ⑥ 排水キャップを取り付けます。



◎排水ホースを使用する場合

- ① 電源を切って電源プラグをコンセントから抜きます。
- ② トレイなどの容器を排水口の下に置きます。
- ③ 排水キャップを取り外します。
- ④ 排水口に排水ホースを取り付けて排水します。
- ⑤ 排水ホースを取り外します。
- ⑥ 排水キャップを取り付けます。



※排水キャップを外した状態では水が漏れてくるのでご注意ください。

お手入れ方法

⚠ 注意

- 有機溶剤（ベンジン、シンナー、石油等）、薬品類（漂白剤、消毒液等）、研磨剤は使わないでください。（変形・変色・故障の原因。）
- お手入れの際は必ず電源プラグを抜き、電源を切ってください。（感電・発火・故障の原因。）
- 本製品は防水仕様ではありません。本製品を水につけたり、丸洗いはしないでください。（故障の原因。）
- フィルター付きカバーを外した本体内部（アルミフィン部分など）は、お客様でお手入れすることができません。
- 市販のエアコン洗浄スプレーは、ご使用しないでください。
- エアコン内部の洗浄は高い専門知識が必要です。誤った方法で洗浄をすると、部品の破損による水漏れや電気部品の故障などを引き起こし、最悪の場合は発煙発火につながるおそれがあります。

本体/リモコン

※頻度：2ヶ月に1回程度

ぬるま湯か薄めた中性洗剤に浸してよく絞った柔らかい布で汚れを拭き取ります。乾いた柔らかい布で拭いた後、陰干しをしてしっかりと乾かします。

※リモコンのボタン電池は取り外してください。



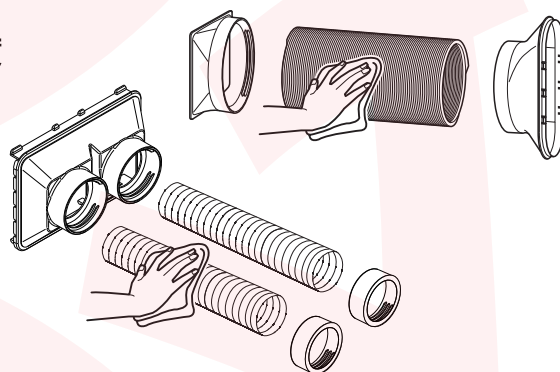
本体内部（内蔵タンク ※取り外し不可）

長期間使用しない場合は、排水をした後に送風モードで3～4時間運転して内部を乾かします。

排気ホース/送風ホース

※頻度：2ヶ月に1回程度

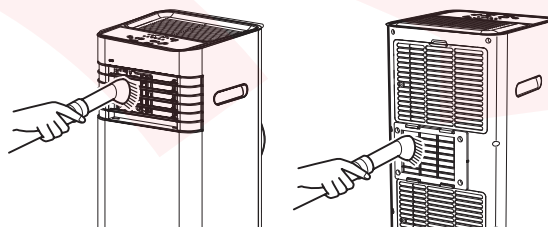
本体から排気ホース、送風ホースを取り外します。
排気ホースからノズルと排気ジョイントを、送風ホースから送風ホースエンドと送風ジョイントを取り外します。
その後、本体と同じ方法でお手入れをしてください。



送風口/排気口

※頻度：2ヶ月に1回程度

すき間にたまったほこりを掃除機で吸い取ります。



お手入れ方法

吸気口/吸気フィルター

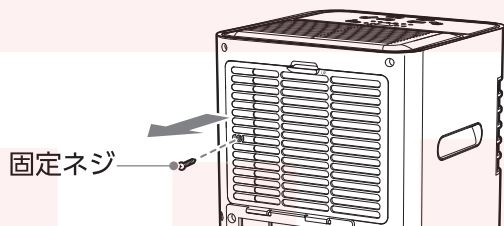
※頻度：2ヶ月に1回程度

吸気フィルター（上）（下）を取り外してからお手入れをします。

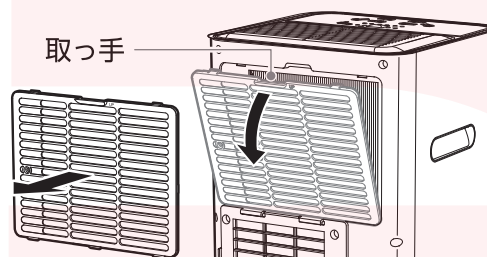
※取り付け方と取り外し方は、（上）（下）とも同じになります。

①固定ネジを取り外します。

※固定ネジは無くさないようご注意ください。



②取っ手に指をかけて手前に引きます

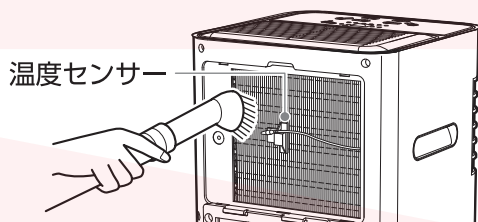


③吸気口と吸気フィルターのお手入れをします。

吸気口のお手入れ

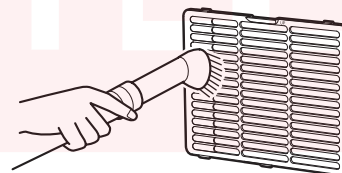
すき間にたまったほこりを掃除機で吸い取ってください。

※温度センサーは取り外さないでください。

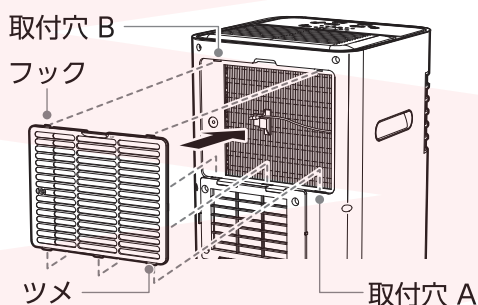


吸気フィルターのお手入れ

付着したほこりを掃除機で吸い取ってください。
汚れがひどい場合は、本体と同様のお手入れをしてください。



④吸気フィルター（上）（下）を本体に取り付けます。ツメを取付穴Aに、フックを取付穴Bに差し込みます。

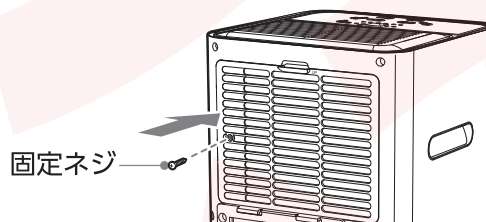


メモ

吸気フィルター（上）（下）の向きは、取っ手の右側の刻印をご確認ください。



⑤固定ねじを取り付けます。



保管方法/長期使用についてのご注意

■ 保管方法

- ・お手入れの後は各部の水分をよく拭き取り、陰干しをしてしっかりと乾かします。湿ったまま保管すると、カビの発生や故障の原因となります。
- ・リモコンからボタン電池を抜いて、ボタン電池の電極(+/-)にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼って保管してください。
- ・本体にポリ袋をかぶせ、お買い上げ時の箱などに入れて、直射日光を避け、湿気の少ない場所に保管してください。

■ 長期使用製品についてのご注意

長期間の使用により下記のような症状が見られた場合は、すぐに電源を切って、コンセントから電源プラグを抜いて、サポートセンターにご相談ください。

- スイッチを入れてもファンが回らない。
- ファンが回っても、回転が不規則に変化する。
- 回転するときに異常な音や振動がする。
- モーター部分が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする。
- 電源コードが折れ曲がったり、破損している。
- 電源コードに触れると、電源が切れたり入ったりする。

設計上の標準使用期間

製品本体に表示してある【設計上の標準使用期間】は右記に示す標準的な使用条件の下で使用した場合に安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
製造年は本体ラベルに記載しています。

製品の故障や劣化は、この条件以外でもさまざまな要因に影響を受けます。標準使用期間に達しない場合でも、上記のような異常がみられた場合にはすぐにご使用をやめ、サポートセンターにご相談ください。また、「設計上の標準使用期間」は「保証期間」とは違い、本製品の無償修理を保証する期間ではありません。

		冷風
環境条件	電源電圧	単相100V
	周波数	50/60Hz
	温度（室内）	27℃（乾球温度）
	湿度（室内）	47%（湿球温度：19℃）
想定時間	1年間の使用日数	6月2日から9月21日までの112日間
	1日の使用時間	9時間/日

 **【設計上の標準使用期間】 4年**
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

故障かな？と思ったら

誤った使用方法などにより下記のような症状が起こり、故障とわれることがあります。
サポートセンターにお問い合わせされる前にご確認ください。

症状	原因	対策
運転しない	電源プラグが外れている	電源プラグをコンセントに接続してください。
	『電源』ボタンを押していない	『電源』ボタンを押して運転を開始してください。
	リモコンのボタン電池の残量が少ない	製品に付属しているボタン電池はテスト用のため、早く消耗する場合があります。新しいボタン電池に交換してください。
運転が停止した	オフタイマーが設定されている	オフタイマーを設定した場合、設定時間になると自動的に運転を停止します。設定を「OFF」にするか設定時間を変更してください。
	クーラーモード時におやすみ設定がされていた	おやすみ設定を開始してから6時間後に運転が停止します。
運転モードが切り替わった	クーラーモードで運転している	クーラーモードで運転している場合は、本体の周囲温度や設定温度により、運転モードが切り替わります。
	自動保護機能が働いている	クーラーモードと除湿モード時は、特定の環境になると自動保護機能が働きます。自動保護機能の詳細はP.9「知っておいていただきたいこと」をご確認ください。
運転音が大きい	不安定な場所に設置している	水平で安定した場所に設置してください。
	送風口、吸気口などにほこりがたまっている	お手入れをしてほこりを取り除いてください。
運転するが涼しくならない	送風口、吸気口などにほこりがたまっている	お手入れをしてほこりを取り除いてください。
	冷風モードの設定温度が本体の周囲温度よりも高い	設定温度を本体の周囲温度よりも低く設定してください。

故障かな？と思ったら

症状	原因	対策
本体から水がもれる	本体が傾いて設置されている	水平で安定した場所に設置してください。
	本体が傾いた状態で移動した	本体を移動する際は、傾かないように慎重に移動してください。
	排水キャップが外れている	排水キャップをしっかりと取り付けてください。
冷風が出ない	圧縮機が停止している	圧縮機が「ON」から「OFF」へ切り替わった後は、すぐに圧縮機が「ON」にならない場合があります。圧縮機が動くまで約3分程お待ちください。

エラー表示について

エラーコード	エラーの内容	対策
	温度センサーが故障した	ただちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。修理が必要なため、サポートセンターまでご連絡ください。
	水位センサーが故障した	
	タンクが満水になった	排水してください。

※お客様ご自身で修理改造することは絶対にしないでください。

※上記の点検を行っても異常がある場合は、サポートセンターまでご連絡ください。

※製品の廃棄の方法については、各地方自治体の指導に従ってください。

仕様

本体サイズ	幅26.5×奥行28×高さ58cm
本体重量	約15.5kg
電源	AC100V 50/60Hz
1時間あたりの電気代	約15.9円（450W連続運転時）※1kWh単価35円で計算
運転モード	自動運転、クーラー、除湿、ファン
冷房能力	50Hz/0.8kW、60Hz/0.88kW
タイマー設定	オン/オフ（1～24時間）
運転音	約55dB（冷風モード風量「強」）
冷媒	R134a/160g
排気ホース	直径13×長さ24～160cm
材質	外装:ABS、ホース類:PP+EVA、 パネル(A、B、C):PVC、内部の主な材質:鉄、銅、アルミ
冷房消費電力	50Hz/410W、60Hz/450W
運転電流	50Hz/4.36A、60Hz/4.8A
風量	2段階切替（強/弱）
コード長	約1.8m
最大除湿能力	8L/日
自動保護機能	クーラーモード自動停止
排水タンク容量	約120mL（満水時自動停止）
排水ホース	直径0.9×長さ100cm
セット内容	本体、排気ジョイント、排気ホース、ノズル、リモコン、 パネルA、パネルB、パネルC、固定金具×2、ワッシャ× 2、蝶ナット×2、排水ホース、送風ジョイント、送風ホ ース×2、送風ホースエンド×2、日本語取扱説明書
保証期間	購入日より12ヶ月

アフターサービス

お問合せ・修理をご希望される場合

<https://www.thanko.jp/view/page/support>

にアクセスして、サポートページよりお問い合わせください。

QRコードを読み取ることでアクセスすることができます。



不具合品のご送付先

ご連絡なく修理品を送付された場合、そのまま返送となります。必ず上記のページからお手続き後、ご送付ください。

チバケン ナラシノシ アカネハマ
〒275-0024 千葉県習志野市茜浜 2-3-1
EL 内 サンコーサポート宛

TEL 03-3526-4328

(月～金 10:00～12:00 13:00～18:00 土日祝日を除く)

お問合せメールアドレス :support@thanko.jp (自動返信にて上記 URL をご案内します)

販売元 **THANKO**

〒101-0021 東京都千代田区外神田1-8-13
NREG秋葉原ビル 4階 サンコー株式会社

TEL:03-3526-4328

FAX:03-3526-4329

※不具合品のご送付先は別の住所となります。